

## 75 歳以上窓口負担 2 割化緊急アンケート結果より

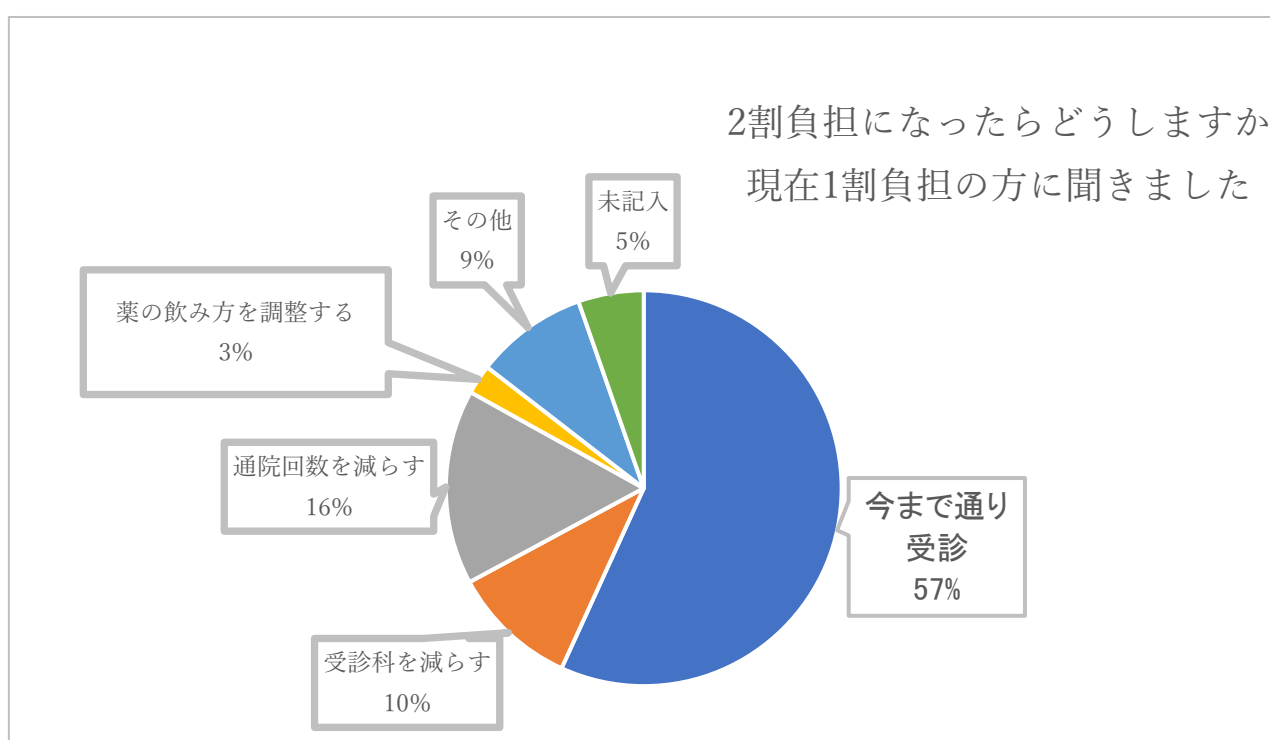
2021.4.8 日本高齢期運動連絡会

後期高齢者緊急アンケート **3100 名**の方から回答が寄せられました

うち現在窓口負担 1 割負担の方(1455 名)の方にお聞きしました

**約 3 割の方が受診控えると回答**

**受診控えは重症化を招き、手遅れ事例が発生します**



### お寄せいただいた声

- 受診の数を減らすことは Dr に経過・結果の良し悪しを相談した上になる。そのしわよせが食事費の節約にかかわる恐れがある。その方が怖いかも。
- 医療費が年々多くかかるようになり、それが 2 割になると結構多額となるので今から苦慮している。

- 今のところ2か月に1回の内科と月1回の歯科への通院ですが、高齢なのでいつ大病になるかわかりません。早期退職の年金なので、これ以上医療費が増えるのは困ります。
- 1人200万以上だと我夫は2割負担になるのかと思ったら、2人で320万。だとすると我家は年取2人で320万未満、1割負担でいけそうです。2人共に特別病気は持っていないので良いけど、もし毎月薬をもらう生活になったら大変です。
- 75歳以上の2割自己負担は大変困ります。50才位までは病気一つせずずっと高い保険料を払ってきました。お互い様ですからね。75才以上になると色々病気も増えて病院へ通う様になりました。ごく自然のことでしょう。そんな人に自己負担を押し付けることは反対です。
- 77才でやっと1割になってホッとしたところで2割負担、がっくりシテイマス。3割から1割はこんなに負担が違うのかと実感しました。今でも年金支給日の前は受診を考えてしまいます。窓口負担が増えることで受診をためらい病気を悪化させる人が確実に多くなります。コロナ禍での2割負担はとんでもない！
- 血圧、コレステロール、胃炎と薬は欠かせないので今まで通り受診せざるをえません。コロナ感染を恐れるあまりとうとう年に一度の健康診断行かずじまいでした。窓口負担2割など高齢者を長生きさせないためと思います。
- 後期高齢者になり、次々病気になり、病院通いが増え、医療費の領収書ばかり増え、大変です。受診を控えることもできません。(生命にかかわるため食べることと医療費だけで生活が一杯です。)
- 旅行も会食も何もする余裕なく、"Go to eat"も"Go to トラベル"も全く縁がありません。入院した時も高額医療と1割負担で何とかできました。自己負担が2割になると考えるだけで恐ろしい。
- 通院での交通費(タクシー)がかさんだ。(バス・JR・地下鉄禁止のため)
- 毎日歩いているが、近くのスーパー・郵便局・銀行の往復が主。脚の筋力が弱くなり、コロナ禍で3kgほど体重減少しました。
- いくつか通院したい病院があるが、我慢してしまう。(後回し)
- 6年前の1月脳梗塞で倒れた夫の薬は勝手に減らすこともできないし、私自身もガンの手術経験(7年前)あり、今は高血圧の(1番軽い薬)を飲んでいる。お金がなくても通院は今まで通りしなくては危険。政府はひどすぎる。一方的に負担2割を強行したら本当に困る。
- 関節リウマチで高血圧の持病があるため通院するしかない。しかし医学が発達してよく効く薬が開発され高額。1か月18000円これが2倍になったらとても困る。
- 高齢のため慢性疾患があり受診を減らすことはできないと思いますが、常に眼科、整形外科、身体の不調で通院が多く多分2割になったら受診は多くの方も控えると思います。年金も介護保険料・医療保険料もアップするばかりで減額(年金)され高齢者は巢ごもりになるでしょう。

- 42 年間常勤で働き年金・介護保険税等すべて支払ってきました。今になって医療費の値上げは困ります。健康には充分気を付けていますがこの年齢になればいつ発病するかわかりません。その時は安心して治療できることを願っています。値上げはしないでください。
- 年金、夫婦合計で 200 万ぎりぎり。家賃の負担がない分何とか生活です。医療費、夫婦 67600、光熱費 3 万くらい、2 割負担になると大変な重荷です。15 年位衣服は買ったことありません。軍事費を消費税ゼロの方向に振り分けて。
- 退職前は 3 割負担。70 歳で 2 割負担になった時は随分楽になった。75 歳で 1 割負担になり通院にも気を使うことなく不調であればかかりつけ医へと通っています、持病であればやめる訳にもいかず月 1 回の通院でも行きます。この時の負担が 1 割か 2 割かによってかなりの差がでます。なんとかならないものか。コロナ禍の中で特に高齢者は自由に外出もできません。身体ばかりでなく心も病んでいる人は多い。受診することをやめるあるいは回数をへらす等まわりの支える力が必要と感じます
- 年金は減る一方で医療費が 2 割になると食費を切り詰めるしかない。健康維持のため今まで通り受診はしなければならぬ。コロナ感染拡大で常に危機意識をもって過ごしています。密接な交流ができず、高齢者にとって心身機能が低下してストレスがたまっています。
- 今まで健康で受診する機会はありませんでしたので 1 割が 2 割になっても、個人的な負担が増えることはないと思っていました。けれど年齢とともにあちこち診てもらいたいところが出てくるとこれからは大変だと思います。1970 年代医療費負担がゼロだった時がありましたそうしたらどんなにしあわせでしょうか。税金が高くとも安心して医師にかかれればとてもいいことです、
- 今まで通り受診したいが。医療費が倍になると払えなくなる、見てもらえない、検査を必要な時だけしてもらおう、してもらえない、どちらか。家の中にいると外に出ないのでうつ病になりかける。一人暮らしで外食が難しい、食事作るのに大変。話し相手がいない。
- 私共夫婦は 200 万円以下だが 2 人合計すると 330 万以上になり、2 割負担になる。絶対許せない。病院行くのを減らすしかない。課税所得 28 万円以上が条件だと該当しない。所得税は 2 人とも支払っていない。金の切れ目が命の切れ目だ。
- 年金のみの生活で家のローン、家族の生活をしてきました。半年前から特定疾患難病にかかり定期的に通院し検査と内服を続けなくてはならなくなりました。今まで保険料が高いと思っていたけれど 1 割負担が 2 割負担になると生活ができなくなりそうです。
- 2 割負担になった場合通院回数を減らすを選びましたが、自分の身体を考えたらずまで通り受診するが言いに行きません。しかし、限られた年金しか入ってこないし、生活するのに医療費が負担になれば、③とか④をえらばざるを得ないでしょう。
- 年を重ねるごとに体の機能は衰え病気も増えてきます。加えて年収 200 万とはいえ現役世代から見れば少ない収入で少々体調が悪くても病院にかからなくなり、かえって大きな病気の見過ごしになります。75 歳以上の自己負担は 1 割のまま又は無料にしてほしいです。
- 昨年やっと自己負担が 1 割になったところです。また 2 割になると困ります。その上年

金を0.1%下げるとはもっての外です。自己負担はなくすべきです。

●昨年11月23日から12月24日硬膜下血腫を発症、入院・手術をしました。入院に要した金額だけで15万円かかりました。文字通り身を削っての支払です。今後も加齢と共に医療費は増えることと思います。なんとしても負担が1割から2割に増えないよう要望します。

●多くの病院に通院して、2020年度も20万を超える医療費です。夫は肺気腫、糖尿病で入院も2度、医療費は30万以上です。私の場合は肺、目は網膜剥離連続7回術後耳鼻科で顔面麻痺、2年目で超難聴で補聴器調整通いで日々明け暮れている状態。現在でも家計費の中で多くの割合を占めていますが2割になったらどうなるのでしょうか！生きていくすべを失くすほどの経費がかかる事でしょう。大変困ります。年寄りには体が弱くなり医療費はかかるのですから値上げされては困ります。

●年金の一部（ほぼ半分）を食費として息子家族に出して扶養されています。コロナ禍で息子の給料が減り、嫁が2か所掛け持ちのバイトで夜10時過ぎ、孫の2人も（高校生）バイトで、全員の健康が心配です。幸いなことに今は私を含めて大病はなく、医療費は抑えています。誰か一人でも病気・ケガになったらどうにも暮らせなくなります。今でも出せるお金が少なくて肩身が狭く息がつまります。絶対に改悪しないでください

●夫婦共に年金で暮らしている。私の年金は最も低いレベル。同居の子は無収入。夫は基礎・国民年金から後期高齢者医療保険料・介護保険料を天引きされた上、住民税（均等制）も支払っており、年金手取りは生活ぎりぎり。高齢化による難聴で補聴器を必要とするが性能が良いものは買えない。通院回数も自粛、病気にはなれない。これ以上の自己負担増は生活苦に陥りますのでこれ以上の自己負担増は絶対反対です。この保険制度設計自体おかしい。改めてください。

●受診はさけられないので診療期間を延ばす等考えよう、80歳をすぎると不意な病気が多くなる。昨年転倒で骨折、めまいで2回入院することになり27万程度の医療費を支払うことになりました。年間後期高齢者保険料を227,800円納めているにも関わらずこのように医療費出資は非常に生活上負担になります。今後2割負担になったらとても大変な状況に追い込まれます今以上の負担には応じられません。

●年金が12万5千円では足りない。家賃3.8万。風呂がないので4/W風呂に行くので月8400円必要。毎月貯金をしとりくずしています。

●現在、糖尿病、高血圧、変形膝関節症などの持病で通院、投与を受けており、月々5,000円～程の医療費が発生していますがこれが2割負担になると、年金生活者には大きな負担になり生活が困難な人が沢山です。諸外国に比べても社会保障費の国の予算は少なすぎます。これ以上の自己負担は認められません。

